

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	盛岡花火の祭典事業			事業コード	1558
所属コード	01432000	課等名	観光課	係名	観光推進担当
課長名	吉田 春彦	担当者名	笹森 真人	内線番号	3724
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード	1
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 まつり・イベント振興事業 (004-01)			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度			開始年度 年度
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

都南大橋下流河川敷で開催する夏の風物詩「盛岡花火の祭典」の開催経費の一部を助成するもの。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

昭和 53 年に旧都南村の夏のイベント「都南花火大会」として事業が開始された。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 13 年の兵庫県明石市花火大会での事故を契機とし、交通規制・観客誘導に対する一層の強化が求められている。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が，何が対象か）

①花火の祭典実行委員会，②盛岡市民，③観光客

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 実行委員会構成団体数	団体	4	－	4	4	4
B 盛岡市民	万人	30	30	30	30	30
C 当該月観光客入込み数	千人回	442	481	455	454	465

（3）24 年度に実施した主な活動・手順

実行委員会への負担金交付及び事前事後の指導

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 花火の打ち上げ本数	発	10,000	－	10,050	10,050	10,000
B 実行委員会会議等での指導回数	回	5	1	5	5	5
C 交通整理等の従事市職員数	人	11	－	15	15	15

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

- 1 市民・観光客がより楽しめる企画の実施。
- 2 花火観覧者数の増加。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 花火の観覧者数(推計)	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	千人回	100	-	110	68	110
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

※24 年度から推計方法が見直されたもの。

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	4,354	-	5,354	5,354
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	4,354	-	5,354	5,354
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	60	-	50	60
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	240	-	200	240
計	トータルコスト A+B	千円	4,594	-	5,554	5594
備考 平成 23 年度は東日本大震災の影響により中止						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

観光客誘致及び豊かな市民生活に結びついている。

② 市の関与の妥当性

市民や観光客が期待されている夏の風物詩であるため、協賛金のみでは運営が困難となることから市の関与は妥当と考える。

③ 対象の妥当性

事業実施者と観覧者（市民及び観光客）を対象としており，現状で妥当と考える。

④ 廃止・休止の影響

市民及び観光客に定着しているイベントであり，観光客入込み数へも大きな影響が生じる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

夏の風物詩としてより魅力あるものとするため，他のイベントとの連携など企画内容等の見直しを図る余地がある。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

市民・観光客の豊かな生活に寄与するものとしての受益機会は，公平・公正であり適正である。

(4) 効率性評価

事業費（市の負担金）及び人件費（市職員の応援）の削減は，花火の打上げ本数の減や人的対応の手薄につながり，イベントの魅力及び質の低下に直結するため，現状維持が望ましい。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 改革改善の方向性

新たな企画による魅力度の向上。他のイベントとの連携による実施。

従来事務局であった都南商工会が盛岡商工会議所と統合したことに伴い，同じ時期に盛岡商工会議所が事務局として開催する「盛岡さんさ踊り」との連携等を検討する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

前売り指定席販売の周知を強化し，売上げ増加に取り組む。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

協賛金や指定席の販売の増加により収入の確保に努めるとともに、内容の検討を行い、イベントの魅力向上に努め、観客の増加を図る。